

# 温篤新聞

通巻133号



## 「お蔭様で、5周年。」

つくば市筑穂の地から、この万博公園に移転して来て、早いもので5周年になります。これも偏に経絡治療を御理解頂き、足を運んで頂ける皆様のお蔭と感謝しております。

今年も皆様も御存知のように新型コロナウイルス感染拡大防止のために、緊急事態宣言が出され、不要不急の外出が禁止されました。当院も他業種同様に影響を受けましたが、当院の治療法である経絡治療に助けられたように思います。それは、心

地良いとかリラックスできるとかも必要な要素かとも思いますが、やはり自然治癒力を高める治療力としては、経絡治療が最適な『医業』と信じるからです。

しかし、今回の一件で茨城県から出された緊急事態措置における休業要請を見てみると首を傾げてしまうような内容でした。

鍼灸院は条件によって休業要請されており「国家資格有資格者が治療を行うもの以外

## 医食同源

### あわび

高タンパク、低カロリーで、滋養強壯の作用に優れ、血行をよくする働きや利尿作用があります。また、疲労回復、肩こり、結核、黄疽、腎疾患にも効果があるとされます。更に、身体の潤いを増して、ほてりやのぼせ等の熱感を冷まし、特に目に栄養を与え、目の疲労を取り、視野を明るくしてくれます。白内障や緑内障の予防にも良いとされます。貝殻は「石決明」といい、煎じて内服する目薬としても用いられます。



## 今月のツボ

### 光明(こうみょう)

「光」は、ヒカリ、輝く、照るから転じて、彩る、ツヤ、盛んなりの意味です。「明」は、あきららか、とおる、あかしの意味になります。つまり光明は、症状が明らかに表れるツボという意味になります。

場所は、外くるぶしの中央の一番高いところから、真上に指幅5本分ほど上がったところに探します。



ちようどその辺りに2本の筋肉が走っているのが分かりますが、その間に取ります。

熱があるのに汗が出なかったり、身体に熱がこもったり、頭部に症状がある時などに用いられます。また白内障や視力の減退といった眼の病気や足の神経痛や麻痺などにも用いられます。

の施設は使用停止」となっておりますが、厚生労働省認可の国家資格があるからこそ開業・治療できるので、休業に当てはまる院はあつたのでしょうか。

かたや整体院も条件によって休業要請されており「利用者が身体機能の維持を目的として利用する施設は対象外」となっておりますが、これは完全に治療行為に当てはまる院はあつたのでしょうか。

世間的には、鍼灸、接骨、整骨、整体、マッサージ、カイロプラクティック等々の資格の違いにおいて曖昧な点が多いかと思えますが、我々鍼灸師の国家資格は法律で定められております。

一般的には『あはき法』と呼ばれており、正式には『あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律』

という名称で、その第一条には「医師以外の者ではりきゆうを業とする者は免許をうけなければならない」とあります。

また医師法17条では「医師でなければ医業をなしてはならない」とあります。つまり医師以外の者には身体に及ぼす影響が大きいため禁止されている行為ですが、あはき法による厚生労働大臣からの免許を有した私たち鍼灸師は、はりきゆうの医業の禁止を解除されているのです。

この医業である鍼灸治療で自分が救われたわけですから、今後も信頼し身体を預けて頂ける皆様に、10周年20周年と健康の一助となれるよう努めて参りますので、宜しくお願ひ致します。



# 二十四節気と七十二候

「くらしのこよみ」より

日本には美しい四季があります。春、夏、秋、冬…折々の豊かな表情は日々の生活に彩りを与えます。日本人は昔から季節感を大切にして暮らしの中に取り入れてきました。

そのよりどころとなったのが、『二十四節気』です。地球から見た太陽の通り道「黄道」三六〇度を十五度ずつ二十四に区切り、その一つ一つに節気を配して四季の移り変わりを表したものです。一つの節気は十五日程度になります。

また、二十四節気の一つ一つをさらに三区分し、季節の風物を言葉で表現したものが『七十二候』です。こちらはだいたい五日単位で、その季節の特徴的な自然現象を意味する名前がつけられています。

## 二十四節気

### 立秋

(八月七日)

毎日の暑さからはとても想像できませんが、暦の上では、もう秋の始まりです。この日を境に、季節の挨拶も暑中見舞いから残暑見舞いに切り替わります。お盆を控え、夏休みをとる人も多い時期です。暑さで参った身体に、滋養を供給したいものです。

### 『心のチャンネルは「感謝」』

「憎悪は憎悪を呼ぶ」といわれます。同じように、不平や不満の心が、相手に同じような心を生じさせることは、日常生活の中で誰もが経験していることです。こういう心づかいが、破壊的で非生産的です。

反対に「愛は愛を呼び、感謝は感謝を呼ぶ」といえます。例えば、家事や育児をしてきている妻への感謝の心は、夫婦の間に温かい心を通わせることでしよう。妻の夫への感謝の心は、夫の妻への感謝と思いやりの心を呼び起こします。

感謝の心は、建設的で生産的な心づかいです。気づいた人が、目覚めた人が、先に「心のチャンネル」をプラスに働かせる方向に切り替えることが大切です。

「一日一話」より



七十二候 (八月十二日～十六日頃)

### 寒蟬鳴(ひぐらしなく)

カナカナカナというヒグラシの鳴き声はどこかもの悲しく、夏の終わりを告げるかのような音です。が、この蟬、実際には夏の間ずっと鳴いているのだとか。よく鳴くのは日の出前や日没後の薄暮れの時間帯ですが、薄暗いところや気温が急に下がった時は日中でも鳴くといえます。やはり

秋の訪れを察し、ゆく夏を惜しんでいるのでしょうか。

### 旬のやさしい

### 冬瓜

旬は夏で、8月に出荷の最盛期を迎えます。名前に冬が付くのは、切らずに冷暗所で保存すれば冬までもつからとか。

96%が水分で味はほとんどありません。煮物やあんかけ、酢の物、スープや味噌汁などの具に用いられます。料理の際はその特性を生かし、薄味に仕上げるのが定石です。暑い盛りは、よく味を染み込ませ

てから冷やした物も好まれます。漢方では身体の熱を取り、ほてった身体を冷ます効果があるとされています。



## 8月

○印はお休みです

日	月	火	水	木	金	土
						1
②	3	4	5	6	7	8
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	15
⑬	17	18	19	20	21	22
⑳	24	25	26	27	28	29
㉓	31					

誠に勝手ながら、8月11日～13日はお休みさせていただきます。

### 執筆余話

トレーナーという職業に憧れ転職しましたが、うまく行かず仕方なく始めた治療家人生でしたが、早いもので22年が過ぎました。そしてその多くの年月を経絡治療家として過ごしてこれた事に有難く思います。

鍼灸院として開業し5年の年月を迎える頃、ようやく軌道に乗ってきたかなと思った矢先の東日本大震災。ライフラインが不自由になり、ガソリンの入手困難な状況により、来院数が減り経営が危うくなりました。それを乗り越え5年、希望を胸に移転してみれば、やはり移転による影響が大きく、来院数が減り失敗だったかと不安に駆られました。これまた乗り越え5年、今度は世界規模のコロナショック。

どれだけ神は試練を与えるのだという嘆きもありますが、それと同時に、経絡治療家としての覚悟を改めて確認させられたような気がします。必ず乗り越えます。

